

夕刊 磐城新聞 十月二十日発行 本紙は昭和八年十月二十日創刊 毎朝五時發行 毎週日曜休刊 毎週日曜休刊

常磐炭田に於ける 炭鑛聚落の研究

山口 彌一 郎

(5) 之等に依つて東部の第三紀層は明後十六年洋式動力を紀層は概して西部阿武隈山利用して阿武隈山地麓に近き古期岩石中に入り込ん採掘に着手した上川谷頭(三)層は五地塊、即ち双葉を略々東西に侵蝕して走る阿武隈山、湯森山、上遠谷底に沿つて所謂谷底聚落の野原、多賀區に區分せられたる形を呈したものである。炭層は第三紀層の最下部石城炭層と稱せられるものの中に二層又は三層を有し、石城層系炭層と稱してゐる。其上部に他の一層があるが非可採掘的のものである。湯本附近の炭層は常磐炭田、本層、下層の三層を平均三、四米、下層は一米以下、上層は劣悪であるが厚さ一、五米の可採層部がある。

愛読者懸賞抽籤

今朝の秋清の師に鮭漬を 馬肥ゆる日を秋味の花漬かな 病鶏の姿さびしや秋の雨 虫啼、露降、夜更けの鐘數ふ 宵また酒を過ぎぬる秋

秋五句

赤井 謙 男 (新舊作) 最初頭頭近き淺所が稼行 田に於ける移動性は最も注意すべきである。

大和田醫院

大友 文樹 眺望 あれと指す、遠いかなた 雲はひろくわき 渺としてるかな海のひろがし

幕末神風組

救ひの手 (一) 一度は空耳かと疑つては 見たもの、確にそれは人 見張の奴等だ

テールゲーム

一等特大形(一名) 二等大形(一名) 三等中形(三名) 大和田醫院

ホエジイ運動以後

ある。合理化と標準化といふ。近代のあらわしの波のな

吉田眼科病院

平町紺屋町 芳賀商店

安齊外科醫院

平町赤心堂病院(電話四七五番)

木村外科醫院

平町六丁目(橋際) 電話三〇九

磐城共濟病院

院長 石山 謙 二 副院長 五十嵐 雄 二

拈華微笑 5. 清涼飲料生 産比年遞減 警官に自動車自 燃の様な苦しみ 折角の運動季節 疑念の心を視力に集めて

社會の今日 10月19日 降る(同四)△上 海副領事清水亨氏自裁す

眺望 大友 文樹 あれと指す、遠いかなた 雲はひろくわき

幕末神風組 救ひの手 (一) 一度は空耳かと疑つては 見たもの、確にそれは人

テールゲーム 一等特大形(一名) 二等大形(一名) 三等中形(三名)

ホエジイ運動以後 ある。合理化と標準化といふ。近代のあらわしの波のな

吉田眼科病院 平町紺屋町 芳賀商店

安齊外科醫院 平町赤心堂病院(電話四七五番)

木村外科醫院 平町六丁目(橋際) 電話三〇九

磐城共濟病院 院長 石山 謙 二 副院長 五十嵐 雄 二



もう少したつたら佐吉さんには血をたぎらせて無言の 必す泣かしてあげてから 歯を喰ひしる佐吉だ

空耳だ 再び腰を落つかせや うとすると又一聲 「佐吉さん」

日の出磨粉は ニューム、眞鍮、ニツケル、銅、ク

吉田眼科病院 平町紺屋町

安齊外科醫院 平町赤心堂病院(電話四七五番)

磐城共濟病院 院長 石山 謙 二 副院長 五十嵐 雄 二

吉田眼科病院 平町紺屋町

安齊外科醫院 平町赤心堂病院(電話四七五番)

磐城共濟病院 院長 石山 謙 二 副院長 五十嵐 雄 二

